

平成 27 年度 九州大学大学院経済学府修士課程入学試験問題（一般選抜）

マクロ経済学

次の 2 問から、1 問を選択し解答しなさい。

- 問1. ある家計の効用関数と予算制約が以下に従うと仮定する。この家計の最適消費計画  $C_1^*, C_2^*$  と貯蓄額  $S$  を答えなさい。ただし、 $U(\cdot)$  は家計の生涯効用関数、 $C_t$  は  $t$  時点における消費、 $\beta$  は主観的割引率、 $r$  は利子率、 $Y_t$  は  $t$  時点における所得をそれぞれ表すものとし、 $r = 0.05, \beta = 6/7, Y_1 = 310, Y_2 = 0$  であるとする。

$$U(C_1, C_2) = \sqrt{C_1} + \beta\sqrt{C_2}$$

$$C_1 + \frac{1}{1+r}C_2 = Y_1 + \frac{1}{1+r}Y_2$$

- 問2. マンデル＝フレミング・モデルに基づき、世界利子率の下落が小国開放経済の国民所得、貿易収支、為替レートに対しどのような影響を与えるかを、固定為替相場制と変動為替相場制のそれぞれの場合について考え、図を用いて理論的に説明しなさい。なお、資本移動は完全であると仮定する。